

Kuki



市民と市政をつなぐ情報紙

広報くき

11

2023 (令和5年)
No.272



「つながり」が地域を幸せに
～地域共生社会を目指して～

地域の中で解決できることはたくさんある



▲久喜コミュニティ推進協議会主催の防災勉強会の様子。区長・学校関係者・市役所職員等が地域の課題について意見を交わした。

問題を一人で抱え込むというのはとても大変なことです。でもつながりができていれば、誰かに相談して知恵を出し合って、道が開けるかもしれません。それに、人と人が顔を合わせると楽しいですね。つながりの場をつくるのが私たちの役目ですし、何かあっても最後に残るのは地域だと思っているので、これからも地域を見守り続ける立場でいたいと思っています。



すなかわたかしで
砂川隆秀さん
(久喜コミュニティ推進協議会選出委員)

困っている人が あなたの周りにもいるかもしれません



ひきこもり

本人だけでなく周りの家族も気持ちや活動の面で社会から孤立する



ヤングケアラー

本来大人が行うような家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っている



ダブルケア

子育てと介護を同時に担っている

現代社会の福祉課題の一例

地域でつながる。

久喜市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定推進会議委員を務めるお二人にお話を伺いました。

住民を中心とした協働を



よしみずみちこ
吉水美智子さん
(久喜市ボランティア団体協議会選出委員)

話を聞いてくれる人がいるだけで、たとえ解決にはつながらなくても、ちょっと心が楽になるものです。地域の住民が先に気付いて行動し、足りないところは行政や関係機関に相談して、一緒に一つの問題を解決していくことが大切ではないでしょうか。また、新しい住民の方もぜひ地域の行事などに参加していただき、「この地域でよかった」と思えるような場所になっていければと思います。



▲高齢者の安否確認も兼ねた配食サービスのボランティアの様子。献立づくりから入念に準備し、心を込めて調理している。

地域共生社会のイメージ



複雑化・複合化した課題の増加
上記で紹介したのは、実際にメディアでも取り上げられることが多い、現代社会における福祉課題の一例です。人口減少や少子高齢化、それに伴う核家族化のさらなる進行など、社会においてさまざまな変化が起きています。これまでの福祉サービスでは解決できない複雑化・複合化した課題が増加しています。地域コミュニティの希薄化が進む中、これらの生活上の課題は、制度や分野ごとの「縦割り」や、「支える側」「支えられる側」という関係性だけでは対応が難しくなっています。

一人ひとりがつながり支え合う
複雑化・複合化した課題は決して特別な「他人ごと」ではなく、いつでも、誰にでも起こり得るものです。子どもから高齢者まで、誰もが取り残されることなく安心して暮らしていくためには、行政や福祉支援機関のみならず、地域住民一人ひとりが地域の課題を「我が事(自分ごと)」として捉え、地域を共につくっていくことが大切です。人と人、人と地域資源が、世代や分野を超えて「丸ごと」つながり、お互いに支えあう社会。「地域共生社会」を、一緒に築き上げていきましょう。

第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画



市と社会福祉協議会は、地域における連携や支援体制を強化し、「地域共生社会」の実現に向けて地域福祉の取り組みを推進するため、令和5年3月に本計画を策定しました。詳細は市ホームページをご覧ください。



地域福祉って？

地域に暮らす全ての人々が安心して暮らせるように、地域住民や公私の社会福祉関係者などが協働して、地域の生活課題を解決するための活動を行うことです。地域福祉の推進には、
・自助 (一人ひとりの主体的な活動)
・互助 (住民同士の支え合い)
・共助 (制度化された相互扶助による助け合い)
・公助 (行政による公的支援)
の連携や協力体制を築く必要があります。

小さなことから始めよう！ あなたの一声が地域を元気に。



あいさつ

ご近所と日頃から関わり顔見知りの関係を築く



地域の情報共有

地域の情報に関心を持ち近所の方と共有する



行事等への参加

地域の活動や行事に積極的に参加する



相談窓口の紹介

心配な人がいたら民生委員や市の窓口などを紹介する

人と人との「つながり」が、地域で安心して幸せに暮らすための基礎になります。皆さんも、気軽にできることから始めてみましょう。

ふくし総合相談窓口
社会福祉課 ☎22-1111(代表)

「どこに相談すればいいの?」「心配事がたくさんある…」など、福祉に関する総合的な困りごとについて相談できます。